



小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの町をご紹介



# みんなが参加する、ひとづくりを 通じた、ワクワク感を大切にした、まちづくり

益田市の北部に位置し、赤雁町・山折町・大草町・乙子町から成る北仙道地区。地区内にはのどかな農村地帯が広がっています。乙子町にある比礼振山は、市内でも有数の展望地で、山頂からは益田市内を一望することができます。

豊かな自然に囲まれながらも、車で益田市街までは約10分、石見空港までは約30分という場所に位置することから、「市街地から一番近い田舎」として、市外や県外に向けてPRをしています。

石見地方に伝わる「狭姫(サヒメ)伝説」の里としてのPRにも力を入れていて、伝説に登場するちび姫が赤雁に乗った姿を北仙道のロゴマークとして採用。地区への入り口では「狭姫伝説の里 北仙道へようこそ」という看板が出迎えてくれます。



### 小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。



# idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの アイデア

益田市

# 北仙道地区

(北仙道の明日をつくる会)









# アークショップ



まちのひとの声

ワークショップ「Kita no-ma」に参加して、地 域の大人と子ども同 士、顔と名前がわかる 関係が築けて安心感に 繋がりました。活動を 通して地域の一体感が 生まれて嬉しいです。



北仙道には若い世代や、地区外から 来た人の声が受け入れられる風土 が根付いています。地域自治組織が、 いろいろな人のチャレンジを応援で きる組織であることを知ってもらい、 より多くの人に活動に参加してもら えるようにしていきたいです。また、地 域にとって何が必要かをしっかり考 え、行動に移して、今の北仙道にない ものをつくっていきたいです。

主に若年層を対象とした、地域住民 の交流を目的としたワークショップ 「Kita no-ma」の企画・運営を行っ ています。月に1回、部員がアイディ アを出し合い、デイキャンプやしめ縄 づくりなどを実施。地域全体で子ど もを育てる取り組みを進めています。 また、他県の学生にも活動に参加し てもらうなど関係人口拡大にも力を 入れています。

少子高齢化や人口減少が進む状況 を何とかしようと、「住み続けたい地 域」を目標に掲げ、2018年に地域自 治組織「北仙道の明日をつくる会」を 立ち上げました。目標達成に向け、他 地区の取り組みを参考に「つながり 部会」「課題解決部会」「定住促進部 会」を設置。その後「いきいき部会」も 加わり、これまで地域になかった活 動が生まれています。



### 小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの アイデア

11

益田市

## 北仙道地区

(北仙道の明日をつくる会)







### 北仙道グッズの開発



地域をPRで



北仙道には若い世代や、地区外から 来た人の声が受け入れられる風土 が根付いています。地域自治組織が、 いろいろな人のチャレンジを応援で きる組織であることを知ってもらい、 より多くの人に活動に参加してもら えるようにしていきたいです。また、地 域にとって何が必要かをしっかり考 え、行動に移して、今の北仙道にない ものをつくっていきたいです。



定住に繋げるための地域情報の発 信を行っています。北仙道小学校の 閉校以降、「北仙道」という地名への 認識が薄れつつあることから、地名 の入ったロゴマークを作成。ロゴ マークを記したTシャツやしおり、パ ンフレットなどの他、地区の歴史や文 化を紹介した絵図も作成し、地名を 知ってもらい、関心を持ってもらう きっかけづくりを進めています。

少子高齢化や人口減少が進む状況 を何とかしようと、「住み続けたい地 域」を目標に掲げ、2018年に地域自 治組織「北仙道の明日をつくる会」を 立ち上げました。目標達成に向け、他 地区の取り組みを参考に「つながり 部会」「課題解決部会」「定住促進部 会」を設置。その後「いきいき部会」も 加わり、これまで地域になかった活 動が生まれています。



#### 小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。